

## 《俳句》

母の日や母であることしみじみと

金谷 昌子

五月雨の追って来る旅木曾の宿

歩

薰風に誘われ古都の阿修羅像

ひみこ

ソプラノで話す女医さん夏は来ぬ

うたた猫

## 《川柳》

目が覚めた 今朝も此の世でほっとする

松永 庄三

ほどほどにあしらってます妻の愚痴

〃

「朝日なわ柳壇」に掲載

## 《短歌》

春風の出会いと別れの十字路で

柳沼 信子

人は集うよ 絆 求めて

手鏡の我にさしましよ 紅赤を

〃

重ねし 心のうちに

